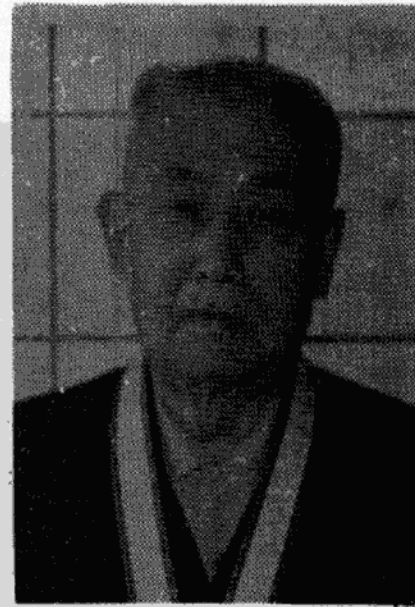


日光市名誉市民

金谷真一氏逝去



なられました。告別式は二月二十三日午後一時から自宅において、しめやかに行なわれましたが、市からは市長、市議会議長

日光市名誉市民、金谷真一氏(87)は自宅において静養されて

ていましたが、二月十六日午前二時五五分、脳出血のため亡く

市議会議員

菊地奥伊氏逝去



市議会議員菊地奥伊氏(67)

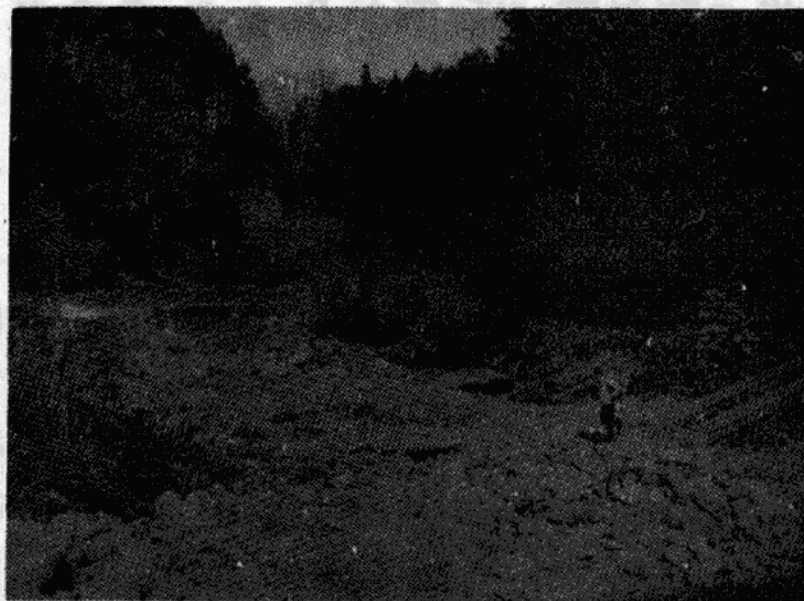
は二月十日、心衰弱のため突然死去されました。

氏は昭和三十八年以来、市議會議員として市政の発展に貢献

され、また、清滝町三丁目自治会長として公益に尽力されてこられた方で、市としては誠に惜しい人材を失いました。昭和三十三年十一月三日、黄綬褒章の受章に引き続き昭和四十一年五月三日、生存者叙勲として勲六等瑞宝章を受章されるなど、四〇有余年にわたり古河電気精銅所製練業務に精励され、つねに電線の品質改善とその生産の向上に貢献された方です。

台風二六号による災害復旧工事がこのほど始まりました。台風二六号は九月二十四日夜半から二十五日早朝にかけて、関東一円にわたって豪雨をもたらした。各地に多くの被害を与えましたが、市内でも公共施設をはじめ民家にまで被害を与えました。

このうち公共土木関係では道路橋りょうなど一か所に被害を受け、これまで皆さん方に不便をおかけしていましたが、このほど国の査定が終わり、国庫補助のもとにつきの四か所の災



- 橋りょうの復旧工事現場
- 鳴沢橋 (工費二四五万円)
- 志渡淵二号橋 (六四万円)
- 梅の沢橋 (九五万円)
- 赤沢橋 (一八二万円)

父の経営するホテル経営に従事され観光事業の第一歩をふみだされました。以来、日光の観光開発に尽精され、とくに観光開発の黎明期ともいえる昭和初期には第一線に立って活躍されるなど観光日光の基礎を築かれました。明治四十一年には日光電

気軌道株式会社を、また、大正三年には日光自動車株式会社を創立、経営にあたられるなど観光日光の基礎づくりを立体的に実行されました。このように、観光全般についての認識はつねに深く、日光観光協会会長、日本交通公社評議員

台風26号による

道路・橋りょうなどの災害復旧工事はじまる

工期はいずれも二月十日から三月三十一日までです。

なお、このほかに七か所の災害復旧箇所がありますが、このうち、つぎの六か所(いずれも小来川地区)は、すでに復旧工事が終わっています。

- 根名草 (工費一四万五千円)

安川町地内に歩道を新設

交通安全施設整備事業

交通安全施設の整備事業として、このほど安川町地内の市道に歩道を建設することになり、工事を始めています。新設する箇所は、公会堂前から安川町本町橋に至るまで、および安川町丁字路から西参道(国道)に至る市道、さらに小西医院前の市道、さらに小西医院前の市道

道およびその延長線(国道まで)で、新設する歩道の延長は七一メートル、幅は側溝にふたをして、これを含めて一、五メートルのものです。工期は一月十一日から三月二十五日まで、工費は三七〇万円です。